

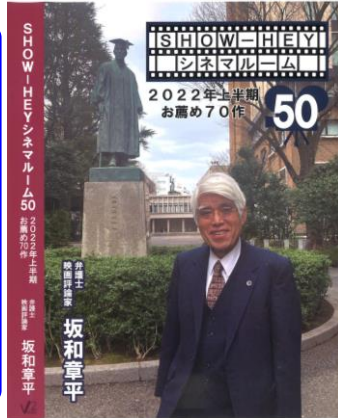


(2022(令和4)年7月1日撮影)

永田ひとみ 細谷優子

坂和章平弁護士

シネマルーム最新刊!



『シネマ50』(2022年7月出版)
(定価1,100円+税)

◆ 業務時間・アクセス ◆

平日 午前9時～午後6時 土日祝は休業

【大阪メトロ堺筋線・谷町線「南森町駅」から】

2番出口を出て左へ(西へ)。阪神高速の高架に向かって進む。高架をくぐったところになにわ北府税事務所があるので、その手前で左に曲がり、高架沿いに直進(南下)。1つ目の信号(西尾倉庫・みなみの森保育園の手前)で右に曲がると、右手に西天満郵便局がある。その3軒西隣が西天満コートビルです。



【大阪メトロ堺筋線・京阪「北浜駅」から】

26番出口を出てすぐの難波橋を渡る。2つ目の信号(Y字路の交差点「西天満1東」)を横断せずに右へ進むと阪神高速の高架があるので、その手前の信号「菅原町西」で堺筋を北へ横断。高架沿いに直進(北上)し、2つ目の信号(左手に西尾倉庫・みなみの森保育園の看板)で左に曲がると、右手に西天満郵便局がある。その3軒西隣が西天満コートビルです。

ウクライナ戦争が続く中、暑中お見舞い申し上げます。

第1 コロナ禍からやっと解放!

1) 昨年夏はコロナ禍にもかかわらず、東京五輪を強行(?)開催!今年2月には厳戒下の北京で冬季五輪も開催された。菅義偉総理と、彼が任命した河野太郎ワクチン担当大臣による大号令の下、日本では異例のスピードでワクチン接種が進んだが、年明け1月には“第6波”に突入り、新規感染者数が爆発的に増加、“第5波”のピークの2倍にも達した。
2) 諸対策を受けて、今年2月以降やっと感染者数は減少。まん延防止等重点措置も3/21には解除されたが、コロナ対応の是非の総括は如何に?政府は6/15、「感染症危機管理庁」の新設を発表したが、その行方は?
3) 私は、“1億総マスク体制”にスッポリ馴染んでしまう日本(人)の姿に、太平洋戦争時代の“1億総玉砕体制”を連想し、大きな違和感を感じている。私が支援した、グローバルダイニング訴訟の判決で、賠償請求こそ棄却されたものの、「東京都の時短命令は違法」と断定されたことへの関心の薄さも心配だ。医師会の体質の問題点も何一つ改善していない。コロナ禍からの“解放”を喜び、観光・飲食をはじめとする経済のV字回復を願いつつ、私にはそんな消化不良感も・・・。

第2 ウクライナ戦争の行方は?

1) 2/24のロシアによるウクライナ侵襲から4カ月が経過した。米国とNATOの英独仏らの軍事支援を受けて、ゼレンスキー大統領とウクライナ軍は激戦を続けている。しかし、今や個々の戦闘の勝敗や個々の都市の奪取・奪回だけでウクライナ戦争が終わらないことは明らかだ。まして、一方で戦闘を続けながら、他方で停戦終戦協議を進めてもそれは無理。日本を含む先進民主主義諸国による対ロシア経済制裁に相応の効果があるのは確かだが、それには反作用もある。欧州諸国とパイプラインで結ばれたロシア産石油の輸入禁止は打撃も大きい。また、ロシア艦隊による黒海封鎖によって、ウクライナ産小麦の輸出(海上

輸送)ができなくなったことは、アフリカ諸国をはじめとする世界の食糧危機に直結しているから大問題だ。
2) 6/24、EU(欧州連合)の首脳会議で、ウクライナは加盟候補国とされたが、正式加盟には数年を要する。そこで、EUとウクライナ等の非加盟国との「欧州政治共同体」の創設案が議論されているが、その成り行きは?
3) 満州事変は1931年9/18。盧溝橋事件は1937年7/7。真珠湾攻撃は1941年12/8。そして、ナチス・ドイツによるポーランド侵襲は1939年9/1だ。他方、日本が日独伊三国同盟を結んだのは、1940年9/27。これによって、世界は日独伊を中心とする枢軸国と米英ソ連中国を中心とする連合国に分かれて戦うことになった。そして今、ロシアのウクライナ侵襲を非難せず、国連安全保障理事会の決議でも拒否権を行使した中国はハッキリ言ってロシア寄り。そのため、今はかつての“東西冷戦”の再現にも見える、民主主義国陣営VS権威主義国陣営の対決構造が加速している。すると、“一帯一路政策”による多額の経済支援を通して中国が影響力を強めてきたアフリカ諸国は、食糧危機という現実を踏まえてどちらの陣営に?また、6/19の大統領選挙で反米左派政権が誕生したコロンビア等の南米諸国は、どちらの陣営に?“米国の裏庭”と称する中南米では、6/10に閉幕した米州首脳会議で米国の求心力が弱まり、中国の影響力が強まっているから心配だ。
4) 西側民主主義国は、6/28に閉幕したG7(主要7カ国首脳会議)で西側の結束を強め、ウクライナ支援を強化する旨の首脳声明を発表した。また、NATO(北大西洋条約機構)は6/29、トルコの容認を受けて、新たに北欧のフィンランドとスウェーデンの加盟を合意した。当然、ロシアはこれに反発しているから、今後はバルト海をめぐるせめぎ合いに注目する必要がある。さらに、NATOは、“ロシアは最も重要で直接の脅威”、中国は“体制

上の挑戦を突きつけている”とし、両国が「ルールに基づく秩序を破壊しようとしていることは、我々の価値と利益に反している」とする“新戦略概念”を12年ぶりに採択した。日本が韓国、ニュージーランド、オーストラリアと共に初参加した中で、NATOのこの歴史的な転換は最大の注目点だ。今後の日本とNATOとの協力関係の強化に注目したい。
5) 他方、ロシア・中国はBRICS(インド、ブラジル、南アフリカ共和国)内での石油を中心とする貿易拡大で対抗している上、BRICSそのものの拡大も狙っている。さらに日本にとっては、北朝鮮の相次ぐ核・ミサイルの揺さぶりはもとより、ロシア・中国艦隊の北海道周辺での合同した動きも不気味だ。
6) そんな状況下、6/17に緊急出版された『第三次世界大戦はもう始まっている』(文春新書)は興味深い。同書の内容は「本来、簡単に避けられたウクライナ戦争の原因と責任はプーチンではなく米国とNATOにある。事実上、米露の軍事衝突が始まり『世界大戦化』してしまっただけで、戦争は容易には終わらず、露経済よりも西側経済の脆さが露呈してくるだろう」というもの。“現代最高の知性”エマニュエル・トッド氏の「米国は“支援”することでウクライナを“破壊”している」との指摘は大ショック!しかし、「ロシア人はプーチンによるメディア操作に踊らされている」との「西側情報」には、西側の私たちも留意する必要がある。石平×ロバート・D・エルドリッジの『これはもう第三次世界大戦 どうする日本“プーチンの核”“台湾侵襲”どっちが先か』(ワニブックス)にも注目!
第3 米中覇権争いは?太平洋漁漁し!
1) 中国では新たに電磁式カタパルト方式の最新空母「福建」が進水した。就役すれば、「遼寧」「山東」と3隻体制になり、任務・訓練・整備のローテーションで、常時1隻は展開可能となる。さらに、4隻目も建造中だ。
2) 大統領就任後、意外(?)な対中“強硬路線”を貫いてきたバイデン政権は、ウクラ

イナに対する突出した軍事支援と共に“台湾有事”の備えも万全！台湾への武器売却の拡充に留まらず、超党派で、①今後4年間で45億ドルの軍事支援の提供、②NATO非加盟の主要同盟国に台湾を指定すること、を内容とする「台湾支援強化法案」を可決した。ウクライナ侵攻を受けて“台湾有事”が注目されたのは中国にとっては不本意だろうが、多くの人々が「今日のウクライナは明日の台湾！」と考えるのは仕方ない。

3) インドを念頭にいた、“自由で開かれたインド太平洋(FOIP)構想”は、バイデン政権誕生の中で重要性を増していたが、ASEAN(東南アジア諸国連合)諸国の動静を巡って、米中の覇権争いが激しくなる中、太平洋上で日本の重要性が高まっている。そんな中、6/10のアジア安全保障会議(シャングリラ会合)の基調講演で、岸田総理は、2014年に安倍元総理が訴えた「積極的平和主義」からさらに踏み込んだ、5本柱からなる“岸田ビジョン”を打ち出したからこれにも注目！

4) “一帯一路政策”に基づく中国のアフリカ諸国への影響力の拡大は、映画『戦狼2』(17年)でも、近時の国連におけるロシア非難決議を巡る対応でも明らかだが、近時目立つのが、かつて日米が覇権を争ったマラオ、マーシャル諸島、ミクロネシア連邦等の太平洋島嶼国への働きかけの拡大。その典型が、ソロモン諸島との新たな国交樹立と安全保障協力に関する協定の締結だ。日米豪ニュージールランドは、ソロモン政府に対して中国の軍事的関与を認めないよう求めているが、今後の展開は如何に？まさに今、太平洋浪高し！

第4 中国は習近平独裁3期目に！

1) 中国では1978年以降の“改革開放政策”を指導した鄧小平以降、権力の集中を避けるべく、国家主席の任期を5年2期とし、江沢民、胡錦濤と続いた。しかし、2012年に国家主席に就任した習近平については、今秋の第20回党大会で3期目の国家主席に選出されること確実だ。昨年、「中国共産党結党100周年」を祝った彼は権力の基盤を着々と固めており、党大会では、①“毛沢東思想”に続く(と並ぶ?)“習近平思想”が打ち出されるか否か、②廃止されていた“党主席の地位”が復活するか否か、が焦点。“七上八下”(67歳は上に行けるが、68歳は引退)の“不文律”が適用されない(無視する)、現在69歳の習近平は独裁者として“中華人民共和国建国100周年”の節目になる2049年には、米国を凌駕、その中間点たる2035年には対等、となるべく奮闘を続けているが、さて・・・？

2) 今年は田中角栄と周恩来の握手に象徴される、1972年9/29の日中国交回復から50周年の節目だが、日中関係はよろしくない。秋以降はコロナ禍からの解放を受けて、インバウンド需要がV字回復する可能性もあるが、それも“政経分離”が前提だ。

3) 2012年から始まった習近平が目指す「中国の特色ある社会主義の新时代」は、第1の百年(2021)で小康社会を実現し、第2の百年(2049)で社会主義現代化強国の新時代道を開く、という“2つの百年”を目指すものだが、その大目標は「中華民族の偉大な復興」だ。民主主義国の指導者は数年毎の選挙と明確な制限を避けられないが、独裁国家にはそれが無い。そのことの是非は如何に？ロシアのプーチンは明らかに“非”だったが、さて中国の習近平は？第20回党大会の行方に注目！

第5 参議院議員選挙の行方は？

1) 6/15に閉幕した第208回国会では、経済安全保障推進法等の政府提出法案61本がすべて成立。岸田文雄政権の意外な(?)支持率の高さが浮き彫りになった。菅義偉前政権で

はコロナ禍が大きくマイナスに作用したが、その点、岸田内閣はラッキー。また、ウクライナ戦争の勃発は必然的に民主主義国の団結・連携に結びついたから、経済制裁や軍事支援に代わる経済支援はもとより、軍事費の拡充や安全保障の議論、そして憲法改正の議論まで支持層を広めていった感がある。そんな状況下、6/22に第26回参議院議員選挙が告示。7/10投開票と決まったが、その結果は如何に？

2) 主な争点は、ロシアのウクライナ侵攻を受けた経済と物価高への対応、外交・安全保障だが、野党がバラバラにされた現状では、自公による改選過半数獲得は容易かつ確実。米国の0.75%の利上げに伴う急速なドル高・円安の進行は急激な物価上昇につながっているから、政権の危機感は強いが、ウクライナ戦争が長期化し、民主主義国陣営VS権威主義国陣営への二極分解が進む中、日米同盟を基軸とした日本の防衛力強化はもとより憲法改正議論への抵抗は少なくなっている。選挙期間中の岸田総理のG7やNATOへの出席は異例だが、長い外務大臣の経験を持つ彼はここでも断然有利。“聞く力”だけではなく、意外なリーダーシップを発揮しているようにも見える。コロナ禍の不幸を一身に背負った菅前政権に比べ、ウクライナ戦争下の参議院選挙という幸運(?)の中、自公の政権与党で過半数獲得という最低限の目標達成は確実な上、維新、国民を加えた改憲勢力の3分の2が実現するかもしれない。そんな形で“圧勝”すれば、内閣改造後の岸田政権は“黄金の3年間”を手に入れることになるから、防衛費のGNP比2%の実現を経て、憲法改正へと一気にこの国が変わっていくかも・・・。

第6 将棋、囲碁、野球

1) 将棋界では、羽生善治九段の公式戦1500勝達成が大ニュース。1985年12月に四段に昇進した後、36年半で到達！勝率は0.696だから、1433勝で2位につける故・大山康晴の0.647を大きく上回っている。他方、永世名人の資格を持つ羽生が昨年51歳で連続29期も守ってきた順位戦A級からB級1組に陥落したのは大ショック。16世名人の中原誠が52歳で、17世名人の谷川浩司が51歳で、それぞれA級から陥落した過去と対比してみると、最高峰の棋士といえども51歳は大きな分岐点？また、99期でとどまっているタイトル獲得数100期の達成は？

もう一つのニュースは、史上最速で順位戦A級に昇進した藤井聡太五冠が、その初戦で勝利したこと。もしA級でトップとなり、渡辺明名人への挑戦権を獲得すれば、史上最年少、最速で名人位を獲得する可能性がある。藤井は、ヒューリック杯棋聖戦では永瀬拓矢王座の、王位戦では豊島将之九段の挑戦を受けている、竜王戦の挑戦者を決める本戦も始まっている。竜王・叡王・王将・王位・棋聖の五冠が維持できるか否かと共に、名人位獲得と将来的な八冠誕生の可能性にも注目！

2) 囲碁界では、6月、本因坊戦で井山裕太が一力遼に4連勝！趙治勲名誉名人が1989~98年に本因坊戦で達成した10連覇を上回り、七大タイトル戦の最多連覇記録を更新した。1~3月の棋聖戦七番勝負では一力に10連覇を阻まれたが、名人、王座、棋聖と合わせて四冠を堅持したからすごい。彼は今32歳。09年に当時史上最年少の20歳で名人を獲得してからタイトル戦を席卷。16、17年には二度の七冠独占を達成し、七大タイトルの獲得数は歴代1位の55だ。羽生の99にどこまで迫るか、超長期的に観察していきたい。

3) 将棋界では“女流棋士”同士の公式戦はあっても、男性と同じ資格の“棋士”の誕生はなかった。しかし、6/28“出雲のイナズマ”

と呼ばれた里見香奈女流四冠がはじめて“棋士”を目指して編入試験を受験することに！他方、囲碁界では、上野愛咲美、藤沢里菜、謝依旻らの女性棋士は、井山裕太、一力遼ら男性のトップ棋士と同じ資格で互角に(?)戦っている。そんな中、2019年に10歳でプロデビューした13歳の仲邑童二段が、6/6、公式戦で通算100勝を史上最年少で達成したことにはビックリ！従来の記録だった1972年の趙治勲九段の15歳11カ月の記録を50年ぶりに大幅更新した。女子ゴルフ界で次々に登場している“黄金世代”と呼ばれる若手と共にしっかりと注目したい。

4) 開幕直前の矢野監督の退陣表明には驚愕！そんな馬鹿なと思っていると、優勝候補筆頭(?)の阪神は何と開幕9連敗。新守護神の2試合でのリタイアや某外国人野手の惨状と共に、マスク越しに見る指揮官の死んだような目が印象的だ。もともと、交流戦では大山の打撃復調と共に急浮上。戦力再整備の中、Aクラス入りを狙う勢いを見せている。しかし、すでに満塁HR4発の若き主砲・村上を擁するヤクルトの強さは、高津監督の名采配と共に飛び抜けている。久しぶりに観戦した6/4(土)の甲子園球場での対日ハム戦は、エース青柳の力投で快勝したが、私の関心はすでにペナント終了後に。阪神の監督は難しい！矢野監督の後継者は、さて誰に？

第7 巨星墜つ！石原慎太郎氏死去！

1) 石原慎太郎氏が2/1、89歳で死去した。文藝春秋は文春ムック・特別編集、永久保存版として『石原慎太郎と日本の青春』を出版し、『文藝春秋』4月号は、①「絶筆 石原慎太郎『死への道程』」、②「父は最期まで『我』を貫いた」(四男・石原延啓)、③「三途の川で待ってろよ」(亀井静香)を掲載。さらに、④「芥川賞『太陽の季節』全文掲載」も掲載した。彼の作家・政治家としての活動の全貌は、6/9に挙行された「石原慎太郎氏 お別れの会」を見れば明らかだ。彼へのその賛否とその評価は大きく分かれるが、私の評価は高い。とりわけ、大阪維新の会を立ち上げ、一大ブームを起こした橋下徹をこよなく愛し、「牛若丸と弁慶」になぞらえて全面的な支援を確約する姿が私は大好きだった。

2) 『太陽の季節』を書いたのは一橋大学在学中だから、彼の早熟ぶりはすごい。弟の石原裕次郎の昭和を代表する魅力には及ばなかったから、常に弟に対する劣等感や嫉妬心を持っていたはずだが、彼はそれを上回る兄弟愛と家族愛を持っていた。また、兄弟ともに、周りに有能なスタッフが集結してくるという不思議な魅力を備えていたようだ。裕次郎の52歳での死去は美空ひばりの57歳での死去と同じように日本の大損失で、その死亡と共に昭和の時代が終わることになった。しかし、弟死去後も慎太郎は政治家としても作家としても大車輪の活躍を続けたから、その業績はしっかりと評価したい。

3) その上、何と、6/17には、『自分と妻』の死後の出版のために書かれた自伝として、『私』という男の生涯』を出版。そこには、「※この自伝は著者の死後発売される目的で書かれた作品です。生前に、著者は校正グラのチェックを四度済ませております。(編集部)」と書かれている。同書は、「弟・裕次郎や妻と息子たちへの愛と感謝、文学・政治への情熱と悔恨、通り過ぎていった女たちへの思慕と感傷・・・」を綴っているが、その最後の一文は、「死ぬのはやはりつまらない」だ。まさに、“巨星墜つ”。

2022(令和4)年盛夏(7/1記)

坂和総合法律事務所

所長 弁護士 坂和 章平

事務所と坂和章平弁護士の近況報告

第1 弁護士業務

1) 法廷に通う弁護士業務は全然やっていないが、電話やネットによる法律相談はやっている。また、超大型企業・株式会社オービックの監査役は昨年6月で終了したが、北海道の某企業の監査役は継続しているの、ゴルフ旅行を兼ねた夏の時期の株主総会への出席は重要な弁護士業務だ。

2) 近時は“時代遅れ”感の強かった裁判手続もIT化(非書面化)が進み、裁判所への出廷からパソコンによるオンライン会議に大きく切り替わってきた。そのため、ITに疎い“老兵は消え去るのみ”だが、弁護士には法廷以外のニーズもあるうえ、私はそこでの能力こそ真価を発揮するものと考えている。そのため、元氣なうちに事務所を閉鎖し、残りの人生を楽しむと宣言し実行している同世代の友人もいるが、私は身体が動き頭脳が働限り、適度な弁護士業務を楽しみながら継続したい。

第2 講義・講演

1) 加古川商工会議所にて講演(2/24)(4頁・写真⑩)

2/24(木)、午前11時~12時30分まで、加古川商工会議所 金融・不動産部会 第227回例会において、「まちづくりの法と政策 —1950年→1970年→1990年→2020年の歩みと到達点から加古川のまちづくりを考える—」のテーマで講演。第1部 まちづくりの法と政策、第2部 東京・大阪・神戸のまちづくり、第3部 地方都市のまちづくり、第4部 近時のトピックス・時事問題、に分割して、詳細なレジュメ・資料を配布し、90分間熱弁を奮った。

2) 大阪電気通信大学の講義収録(6/24)(5頁・写真⑮⑯)

6/24日(金)、大阪電気通信大学の王少鋒准教授の国際交流論の授業で、「映画の見方・評論の書き方 映画から見る国際交流論」の講義を2時間にわたって収録。今回が4度目だが、『ベイビー・ブローカー』『PLAN75』等の最新情報を提供。また、ウクライナ戦争に関する映画を特別に紹介した。少しでも学生諸君が勉強する刺激になればうれしい。学生たちのレポートを見ると、過去3回の講義ではすべて好評だったから、今回も反応が楽しんだ。

5時から、蘇州のUWC中国常熟校から夏休みで帰国している王笑音(えみね)さんと細谷を交えて会食。大学生活の充実ぶりをきかせてもらった。さらに、2024年春の卒業後の進路についても議論。若い人の輝かしい未来を見定めるためにも、こちらはしっかり長生きしなければ!

第3 出版関係(1) —新日本法規の加除式本

1) 『わかりやすい都市計画法の手引』

令和3年の「特定都市河川浸水被害対策法等の一部を改正する法律」(流域治水関連法)における都市計画法の改正による、①地区レベルの防災性を向上させるための地区計画制度の拡充、②都市施設に「一団地の都市安全確保拠点施設」の追加、③開発の原則禁止の区域に「浸水被害防止区域」の追加等、防災に関する改正をメインに追録原稿を執筆し、追録49号が2月に、追録50・51号が3月に発行された。

2) 『Q&A 災害をめぐる法律と税務』

令和3年の災害対策基本法の改正による、①市町村による個別避難計画作成の努力義務化、②特定災害対策本部の設置、③非常災害対策本部の本部長を内閣総理大臣に変更、災害対策基本法の改正に伴う「避難勧告等に関するガイドライン」の改定による、④「避難勧告」の廃止と「避難指示」への一本化、⑤警戒レベル5の「災害発生情報」から「緊急安全確保」への変更、また、⑥令和3年の「特定都市河川浸水被害対策法等の一部を改正する法律」(流域治水関連法)等について、新設問15問、補正44問を執筆し、昨年12月に追録61~66号として発行された。

また、①航空法の平成27年改正と令和3年改正、②平成28年の小型無人機等飛行禁止法(ドローン規制法)の制定と同法の令和元年、令和2年改正によって進められた一連のドローンに関する法制度とドローンを活用した災害発生時の調査等について新設問5問を執筆し、同じく昨年12月に追録61~66号として発行された。

令和3年7月に発生した静岡県熱海市伊豆山の土砂災害を受けて、危険な盛土等を全国一律の基準で包括的に規制するために、今年5/20に成立した「宅地造成等規制法の一部を改正する法律」(盛土規制法)については、次回の追録で多くの新設問を執筆したい。

3) 『問答式 土地区画整理の法律実務』

2022年は4年ぶりに7/21に編集会議の開催が決定。日常的にネタ集めはしていたが、災害関連のネタは多いものの、土地区画整理法関連の動きは少ない。また、各地の区画整理の現場では生々しい動きがあるようだが、その把握と整理は難しい。そのため、補正がメインになるかもしれないが、新規のネタ探しは引き続き頑張りたい。

第4 出版関係(2) — 『シネマ50』を出版

濱口竜介監督の『ドライブ・マイ・カー』(21年)の快挙に拍手!彼のはじめての短編集である『偶然と想像』(21年)もそれ以上の名作だが、近時のくだらない邦画の増殖にはいい加減ウンザリ!ハリウッド映画も玉石混濁だが、近時は西欧や中東等に注目作が増えている。カンヌ、ベルリン、ヴェネチアの三大国際映画祭ではクソ難しい映画が受賞することが多いが、それに注目!しんどいけれども充実感のあるものが多い。他方、中国映画、韓国映画の元気の良さや質の良さはずっと続いているから、その注目作は必見だ。

しかして、『シネマ1』から20年を経て、記念すべき『シネマ50』を出版することができた。巻頭作『コーダ あいのうた』(21年)をはじめ全70作を収録しているので、ぜひご購入を!

第5 中国語学習(4頁・写真⑤⑥)

1) HSK(漢語水平考試)5級に再チャレンジ!(1/23)

1/23(日)、大阪メトロ中央線・コスモスクエア駅直近にある森ノ宮医療大学にてHSK(漢語水平考試)5級を受験。2021年6/19の試験では4級に合格したが、5級は听力43点、阅读67点、写作60点の合計170点で、合格基準(60点×3=合計180点)に達していなかったため、再チャレンジ!難敵は相変わらず听力だが、阅读と写作は大幅に改善しているはずだ。

2) 成績報告が到着!合格!(3/25)

2013年以降、5級と6級の成績報告には合否が明記されなくなったが、2012年内の試験までは、5級・6級に関しても、6割以上のスコア獲得で「合格」と記載されていた。しかして、私の成績報告では、听力47点、阅读73点、写作65点で総得点は185点。これはギリギリ6割以上だから、「合格」だ。予想とぴったり一致していた結果に安堵。自分をほめてやりたい。中国語学習は毎日続けているが、今後、HSKの6級を目指すか、それとも中国語検定試験(中検)の2級を受験するかを含めて次の挑戦はじっくり考えたい。さあ、今後はこれをいかに活用?

第6 健康面—1kmの水泳と足ツボマッサージが定着!

1) 2015年9月の大腸がん手術はまさに青天の霹靂だった。それに続く2016年11月の胃がん手術もビックリ!しかし、その後半年ごとの定期検診での異常はなく、各5年間続いた経過観察も“無罪放免”となった。その間も1~2年毎の大腸と胃の内視鏡検査は続けたから健康面は一安心。

2) コロナ禍では事務所4階のプライベートサウナが大活躍したが、2021年6月の帝国ホテルのフィットネスクラブ再開後は、サウナだけでなくプール通いを始めた。当初はせいぜい500m程度だったが、今や毎日、午前中は原則的に40分・1kmの水泳(平泳ぎのみ)が定着。さらに、日曜日毎に受けている、1時間の全身マッサージと1時間の足ツボマッサージが私には最適で、1年以上続いている。当初は急所の足ツボに“痛い、痛い”と悲鳴をあげていたが、今ではすっかり慣れ、最強の押しの中でも居眠りできるほどになっている。

3) さらに、2021年6月から始めた“一日一食主義”が私には合っていたようで、今や夕方6時から約3時間かけて、TV3台を観ながら少しずつ食べる夕食のスタイルが定着。それでも体重が減ることなく、ずっと安定しているからうれしい。このように持病はあるものの、73歳にして健康は万全だ。2024年の『がんばったで!50年』に向けて、さらに前進したい。



【写真①】 2021. 12/21 愛光関西 9 期囲碁会・忘年会

【写真②】 6/21 愛光関西 9 期囲碁会



【写真③】 2021. 12/26
安徽省と日本をネット回線で！



【写真④】 1/5
戸谷有里子さんと会食

HSK (五級) 成績報告
HSK (Level 5) Test Score Report

姓名: 坂和 聡平
Name: 坂和 聡平

性別: 男 国籍: 日本
Gender: Male Nationality: Japanese

考试时间: 2022 年 01 月 23 日
Test Date: 2022 Year 01 Month 23 Day

编号: H52201002929
No. H52201002929

准考证号: H52213828022750007
Admission Ticket Number H52213828022750007

	满分 Full Score	你的分数 Your Score	听力 Listening	阅读 Reading	写作 Writing	总分 Total Score	百分等级 Percentile Rank
听力 Listening	100	47	100	99	99	284	99%
			89	89	89	258	96%
			84	82	75	241	89%
			84	76	71	227	79%
阅读 Reading	100	73	80	71	67	214	89%
			78	64	64	202	86%
写作 Writing	100	65	71	59	69	199	82%
			68	53	56	177	70%
总分 Total Score	300	185	60	47	51	163	53%
			51	40	43	142	41%

主任 王新心
Director 王新心
教育部中外语言交流合作中心
Center for Language Education and Cooperation

中国・北京
Beijing・China

成绩有效期两年 (Test scores are valid for two years)

【写真⑤】 1/23
HSK 5 級受験



【写真⑥】 3/25
HSK 5 級成績報告



73歳の誕生日



【写真⑧】 1/26
合家(株)の史林麗さんと古婷婷さんと



【写真⑦】 1/18
4人で会食 (73歳の誕生日前祝)



【写真⑨】 1/26
陣内優一弁護士よりお祝いのお花を！



【写真⑩】 1/26
岡三証券(株)の川野課長よりお祝いのお花を！



【写真⑪】 1/26
事務員からは健康タワシのプレゼント！



【写真⑫】 2/24 加古川商工会議所で講演
(株)不動産流通センターの仲上さんと



【写真⑬】3/19

5人の新進アーティストによる5作品
(劉茜懿、馮琳、張帥、劉丹姝、馬素菲)



【写真⑭】3/19

作品と案内を中心に5人の中国人
の新進アーティストに囲まれて



【写真⑮】3/19

(公社)日中友好協会・田中麻衣子さん、
劉茜懿さんと一緒に



【写真⑯】3/19

早稲田大学の隈重信像
の前で



【写真⑰】3/19

早稲田大学の国際文学館
(村上春樹ライブラリー)にて



【写真⑱】3/19

「WASEDA BEAR」と
一緒に早稲田大学歴史館前
にて



【写真⑲】3/19

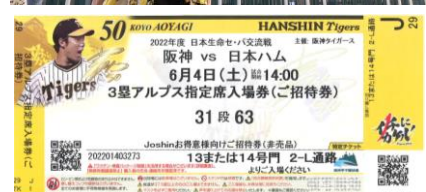
夕方からは4人ずつ2組に分かれて会食



【写真⑳】5/4 中之島まつり



【写真㉑】5/26 女優・小川夏果さんと



【写真㉒】5/15・16 2年ぶりに苦小牧でゴルフ



【写真㉓】6/4 阪神甲子園球場にて熱戦を観戦



【写真㉔】6/12

「モディリアーニ展」を鑑賞



【写真㉕】6/24

大阪電気通信大学の王少鋒
准教授と講義収録



【写真㉖】6/24

講義収録後、王笑音さんと会食

愛光関西 9 期囲碁会 (12/21・6/21) (4 頁・写真①②)

- 1) 2021 年 12/21 (火)、定例の愛光関西 9 期の囲碁会を、二宮、亀井、喜安、井上、坂和の 5 名の参加で開催。熱戦を繰り広げた後、5 時半からは梅田の焼肉屋に会場を移し、川淵、川本、村上の 3 名も参加して忘年会を開催した。72~73 歳になる 8 人の男たちが各種の焼肉を頬張りながら議論する姿は頼もしいかぎり。新旧様々な話題で盛り上がった。2022 年はコロナを乗り越えて良き年にしたいものだ。
- 2) 2022 年 6/21 (火)、愛光関西 9 期囲碁会を実施。二宮、亀井、井上、喜安、坂和、村上の 6 名が参加し、いつも通り囲碁の熱戦をくり広げた。今回は、将棋の村上が参加してくれたため、坂和と 2 人で熱戦をくり返し、坂和の 3 勝 2 敗で決着がついた。

安徽省と日本をネット回線で！ (12/26) (4 頁・写真③)

- 1) 2021 年 12/26 (日)、坂和総合法律事務所 2 階の大会議室で 4 時から 6 時まで「网上回安徽—侨连东瀛・心系江淮」を開催した。これは安徽省の合肥、芜湖、安庆と日本の東京、大阪をネット上で結んで、中国本土の人たちと日本在住の安徽省出身者との交流を狙う、コロナ禍でも実施可能な企画だ。前日から合家株式会社の史林麗さんと古婷婷さんがネット環境の準備、会場の設営等に尽力してくれたおかげで、ネット会議は順調に進んだ。各地からの挨拶や父と息子との久しぶりのご対面もあり、合肥会場からは、二胡、手風琴 (アコーディオン) 演奏等の文芸表現もあった。
- 2) 私も「一位特殊的客人」として、中国語で「大家好！恭喜恭喜、今天举办了网上回安徽的活动。我叫坂和章平。我一直都很热爱中国。我期待今天的活动成功举办，中日友好事业一直发展和进行下去。」と挨拶した。これからは顧問にも就任するから、今後なお一層の交流と貢献に努めたい。

戸谷有里子さんと会食 (1/5) (4 頁・写真④)

- 1/5 (水) の 6 時から八かく庵で戸谷有里子さんと会食。1989 年に南海サウスタワーホテルのフィットネスクラブに入会した時、優秀なインストラクターの一人として知り合い、以降、運動を続けるきっかけとなり、5 km マラソン、10 km マラソンにもペアで参加した。インストラクターを辞めた後は家業の印刷会社を手伝ったので仕事上の付き合いも続いていたが、それ以上に私は彼女の生き方の積極性に注目してきた。知り合ってから 32 年、会食の中でお互いの現状と共通点を再確認し合うとともに、今後の展開方針を紹介し合い、元気を与え合い、毎年正月の会食を約束した。有意義な会食に感謝。

73 歳の誕生日 (1/26) (4 頁・写真⑦~⑪)

- 1) 1/18 (火) 梅田の居酒屋で史林麗さん、古婷婷さん、坂和、細谷の 4 人で会食。パートナーとしてさまざまな活動を展開していく方向性について、濃密な議論を展開した。1/26 に 73 歳の誕生日を迎える私には、写真⑦のようなサプライズも！
- 2) 1/26 (水)、私の 73 歳の誕生日祝いの第 1 部は、坂和事務所 2 階会議室における、史林麗さん、古婷婷さんの華麗な演出に注目！また、事務員からは、私の要望に沿って毎日サウナで使う健康タワシをプレゼント。第 2 部は岡三証券梅田支店の川野課長からお花のプレゼント。さらに 4 階のテナントの陣内優一弁護士からもお花のプレゼント！まさに“両手に花”状態でご満悦！これからは元気で“好きなことを好きなように”やっていく決意を固めるハッピーな誕生日になった。

書店でシネマルーム発見！ (3/11)

(公社) 日中友好協会の友人から、「東京の書店で、書店員さんの許可を得て撮影した」として、写真が送られてきた。『SHOW-HEY シネマルーム』の出版は約 20 年間で 49 冊、よくぞここまで続いたものだ。



そんな愛着のある本が、このような形で書店の映画関連書籍のコーナーに並んでいるのを見れば、ますます頑張ろうという気持ちになってくる。『シネマ 50』の作成にも取りかかるので、皆さん、これからもよろしく。

ワセダギャラリーでコンテンポラリーアート展「在地、園宇宙」を開催 (3/19、20) (5 頁・写真⑬~⑱)

- 1) 早稲田大学のワセダギャラリーで開かれたコンテンポラリーアート展「在地、園宇宙」の様子は、『日本と中国』で報道された。その取材と執筆は、公益社団法人日本中国友好協会・広報部の田中麻衣子さんだ。5 人の若手アーティストの展示作品は意欲作ばかり。テーマが「在地、園宇宙」(メタバース)だから抽象的でわかりにくいのは当然だが、そこはそれぞれの感性を研ぎすまさなければ！
- 2) 3/19 夕方 5 時から 9 時まで、居酒屋で 4 人ずつに 2 組に分かれて会食。劉茜謔さんとは、これから日中の若手アーティスト協会(仮称)を立ち上げていく構想を語り合った。また、今年から多摩美術大学大学院に入学した王雅さんとも再会。初めて紹介してもらった日本人の彼氏とも話が盛り上がった。加油！加油！
- 3) 鑑賞の合間に、昨年沖縄タイムスから日本経済新聞に“華麗なる転身”を遂げた徐潮さんと再会。早稲田大学大学院出身の彼女の案内で、①早稲田大学歴史館、②国際文学館(村上春樹ライブラリー)、③大隈重信像、などを見学。
- 4) 3/20 は、劉茜謔さんを含む 5 人で朝からファミレスで語り合った後、2 時から八重洲にある「国立映画アーカイブ」を見学。楽しく有意義な 1 泊 2 日の東京旅行になった。今後は劉さんを中心とする日中の若手アーティスト協会(仮称)設立に向けて頑張りたい。

中之島まつり (5/4) (5 頁・写真⑳)

ゴールデンウィーク後半の好天気につられて 5/4 は十数年ぶりに中之島まつりを見学。ごった返す人並みにビックリなら、皿回しや落語の出し物にもビックリ！第 20 回を迎えた「中之島映画祭」で 23 分の短編を 1 本だけ鑑賞。雰囲気だけだったが、十分にお祭り気分を楽しむことができた。

2 年ぶりに苫小牧でゴルフ (5/15・16) (5 頁・写真㉑)

- 1) 緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の“解除”を受けて 2 年ぶりに、1 日目 (5/15) は千歳空港カントリークラブで、2 日目 (5/16) は北海道ゴルフ倶楽部で、連チャンゴルフ。コロナからやっと解放されたことを実感することができた。
- 2) 夕方の株主総会では、増収増益の結果をみんなで喜んだ後、1 年間の事業報告と決算報告をしっかりと議論。次回は 7 月に。

小川夏果さんと半年ぶりに再会 (5/26) (5 頁・写真㉒)

- 1) 5/26 (木)、女優で中国語が堪能な小川夏果さんと半年ぶりに再会。昨年 12 月に公益社団法人日本中国友好協会の紹介で知り合い、直ちに交流が始まった小川夏果さんが来阪した機会に事務所を訪問してくれた。
- 2) 伊地知拓郎監督と共に製作中の新作映画の企画を中心に、老朋友の阜東丹櫻(郭小莉)さん、中国語学部卒の伊藤日美子さんと共に、弁当を食べながら 3 時間たっぷり話し合った。近時、「2022 本場大島袖クイーン」にも選出されたとのこと。幅広くかつエネルギッシュな活動に敬服！加油！加油！

甲子園球場で熱戦を観戦 (6/4) (5 頁・写真㉓)

6/4 (土) 2 時から、数十年ぶりに甲子園球場へ行き、阪神 VS 日ハム戦を真夏のような陽射しの中、外野アルプス席で観戦。前日の 6 点差をひっくり返す大逆転劇の勢いを受けて、この日は阪神が先制。安定感いっぴいの青柳の投球を 8 回まで確認して球場を後にした。3 対 0 で阪神快勝のニュースは、阪神百貨店で総菜を購入後に。

モディリアーニ展を鑑賞 (6/12) (5 頁・写真㉔)

- 1) 2022 年 2/2、中之島に“真っ黒な箱”が登場し、大阪中之島美術館＝“美の器”として誕生！こりゃ見学しなければ！そう思っていると、開館記念特別展として「モディリアーニ—愛と創作に捧げた 35 年—」が開催されたから、こりゃ必見！早くから購入していたチケットを使って、6/12 (日)、恒例のサウナ・水泳・マッサージ終了後、1 人で自転車で駆けつけた。お隣には大阪市立科学館と国立国際美術館もあるから、この中之島界隈は大阪が世界に誇る一大文化拠点だ。真っ黒い巨大な箱の中に入ると、巨大なエスカレーターがあり、それを昇っていくと会場が。
- 2) 20 世紀初頭のパリに生きた画家モディリアーニ (1884~1920 年) は 35 歳で逝ってしまったが、裸婦像をはじめとして優れた作品が多い。大阪市が 19 億 3,000 万円で購入した「髪をほどいた横たわる裸婦」(17 年) はその一つ。今回は同作と「座る裸婦」(17 年) を中心に約 40 点を展示。同時代の 25 人の作家の作品も展示してあるから、豪華なラインナップだ。女優・真矢ミキさんの音声ガイドを片手に約 1 時間、文化の香りをたっぷり。

映画評論家『SHOW-HEY』の部屋 ～ウクライナ“戦争”の今、この“戦争映画”は必見！～

2022年2/24に始まったロシアによるウクライナ侵攻（特別軍事作戦）によって、ロシアVS西欧諸国の対立が激化、長期化し、ロシアの苦戦が続いている。1939年9/1に始まったナチス・ドイツによるポーランド侵攻は第2次世界大戦の端緒になったが、ひょっとして今回は第3次世界大戦の端緒？そんな中、ソフィア・ローレンとマルチェロ・マストロヤニが共演したイタリア映画『ひまわり』（70年）の再上映に注目！同作では、「かつて戦場だった」という広大なひまわり畑が印象的だが、それは一体ナニ？ウクライナの東部と南部で激戦が続き、多くの死傷者を出している昨今、52年ぶりに同作を鑑賞すれば、きっと新たな反戦の思いが！平和憲法（9条）の下でも、5/11に「経済安全保障推進法」を成立させた今、次の6作の“戦争映画”は必見！

1) 『アンノウン・ソルジャー 英雄なき戦場』(17年、フィンランド映画)(『シネマ45』94頁)

フィンランドがついに5/12、NATO（北大西洋条約機構）への加盟を申請！ウクライナ侵攻を受けて、長年続けてきた軍事的中立政策を転換したが、あなたはフィンランドVSソ連の「冬戦争」（39～40年）と「継続戦争」（41～44年）を知ってる？1300kmも国境を接する同国は、ソ連との戦争で約1割の国土を失ったが、その過酷な展開は如何に？それは本作を観れば明らかだが、くだらない邦画しか観ない日本人は本作を知らないはず。しかし、ウクライナでの激戦をリアルにTVニュースで観ている今、本作は必見！せめて、私の評論を読んでお勉強を！

2) 『赤い闇 スターリンの冷たい大地で』(19年、ポーランド・ウクライナ・イギリス映画)(『シネマ47』192頁)

ウクライナは歴史的建造物の宝庫だが、同時に大穀倉地帯としても有名。パール・バックの小説『大地』（31年）では、洪水や飢饉に襲われる中国・安徽省の村が描かれていたが、ソ連東部のシベリア方面は寒く凍えていても、西部のウクライナは大丈夫。それが世界的な常識だったが、1932年～33年に「ホロドモール」（ウクライナ語で「飢饉による殺害」の意味）と呼ばれる、前代未聞の大飢饉が発生したのはなぜ？世界中に恐慌の嵐が吹き荒れているのに、なぜソ連だけは経済的な繁栄を謳歌してるの？そんな疑問を持った若き英国人記者ジョーンズが単身ウクライナに乗り込み取材してみると・・・？

ジョージ・オーウェルの『動物農場』（45年）は皮肉いっぱい面白い寓話だが、記者が目にしたのはすべて真実だ。中国の王兵（ワン・ビン）監督の『無言歌』（10年）（『シネマ34』281頁）もしんどかったが、本作もしんどい。しかし、こんな映画から、何が真実で何がフェイクかを見分ける能力を身につける努力をしなくちゃ！本作は必見！

3) 『スティール・レイン』(20年、韓国映画)(『シネマ49』320頁)

今なお停戦状態にある「朝鮮戦争」の終結と南北統一、米朝首脳会談で実現するの？トランプ大統領時代にそれが期待されたが、本作に見る北朝鮮での米韓朝3国首脳会談は？そんな状況下、突如起きたクーデターの目的は？首謀者は？北朝鮮の原子力潜水艦「白頭号」に三首脳が共に拉致されたのはなぜ？狭い艦長室で3人はどんな“密談”を？

これはすごい！誰がこんな企画を？こんな脚本を？米韓のNo.2は如何に？韓国は？日本は？中国は？

潜水艦モノは面白い！それを確認しつつ、迫力満点の魚雷戦と爆雷戦をしっかりと味わいたい。しかし、本作の結末は如何に？ハッピーエンドであることを願うばかりだが・・・。

4) 『親愛なる同志たちへ』(20年、ロシア映画)(『シネマ50』64頁)

1989年の天安門事件は有名だが、多くの日本人は1962年にソ連南西部の都市・ノボチェルカスクで起きた「ノボチェルカスク虐殺事件」を知らないはず。それは一体ナニ？ロシアの侵攻以降、ウクライナ東部のドンバス地方を構成するドネツク州やルハンスク州は有名になったが、ノボチェルカスク地方はそのすぐ東隣だ。社会主義国でなぜストライキやデモが？理論的にはそんな疑問も当然だが、現実には現実！市政委員会で働くヒロインが共産党を信奉していたのは当然だが、わがまま盛りの18歳の娘が参加していたデモが、KGB・軍・党によって鎮圧される中、行方不明になってしまおうと・・・？

ヴェネチア国際映画祭審査員特別賞を受賞した本作は、「84歳の巨匠コンチャロフスキーが祖国への愛と憎悪を鮮やかに

描く最高傑作！」だが、同監督の父親は作家のセルゲイ・ミハルコフ。『太陽に灼かれて』（94年）や『12人の怒れる男』（07年）（『シネマ21』215頁）で有名なニキータ・ミハルコフは彼の弟、本作の主演女優ユリア・ビソツカヤは彼の（若い）奥さんだ。『ドライブ・マイ・カー』の後半は、女性の専属運転手が運転する真っ赤なサーブに乗った主人公が北海道へのドライブに向かったが、本作後半の、娘（の死体？）を探すドライブは如何に？こりゃ必見！

5) 『潜水艦クルスクの生存者たち』(18年、ルクセンブルク映画)(『シネマ50』144頁)

ウクライナの東部と南部で激戦が続いていた2022年4/13、ロシア黒海艦隊旗艦の巡洋艦「モスクワ」が沈没。北海道知床における遊覧船「KAZU1」の沈没は一企業一個人によるとんでもない人災だが、これは1905年に起きた日露戦争におけるバルチック艦隊の旗艦「スワロフ」沈没以来の大事件。ウクライナ側の「対艦ミサイル攻撃によって沈没」の主張に対し、ロシア側は「火災による沈没」と主張したが、その真相は？大量に生産されていたウクライナ産小麦の輸出ができなくなり、その結果、深刻な世界の食糧危機を招いているが、さて黒海の制海権をめぐる今後の展開は？

潜水艦モノは面白い。それは『Uボート』シリーズや『レッド・オクトーバーを追え！』（90年）等で明らかだが、本作はタイトル通り、訓練中に起きた魚雷の爆発事故によって、原子力潜水艦クルスクが沈没した実話を基にした映画。1992年にソ連邦が崩壊した後のロシアの歩みは混迷を極め、予算削減のため艦船の維持管理作業も不十分だったらしい。それでは、北方艦隊に属する1万4,700トン、乗員118名の大型艦でも、いざという時に役に立たないのは当然だ。

1910年4/15に起きた、佐久間勉艇長が指揮する第六潜水艇の沈没事故は日本海軍の悲劇だが、その“死にザマ”は世界中に大きな感銘を与えた。それに比べると、本作の悲劇とその結末は？軍艦の運用は軍人次第！事故処理は政府次第！そんな実態（悲劇）を本作でしっかりと！

6) 『狙撃手』(22年、中国映画)(『シネマ50』200頁)

2008年の夏季五輪に続く、今年2月の北京冬季五輪の開会式の総指揮は、張藝謀（チャン・イーモウ）。そんな大仕事の一方、春節での本作の公開はすごい！戦争映画大作『長津湖』（21年）に続く『長津湖之水門橋』（22年）の大人気にはかなわなかったが、五輪効果も後押しし、張藝謀監督の久々の戦争映画である本作もそれなりの大ヒット！

スナイパーものは面白い！それは『スターリングラード』（01年）（『シネマ1』8頁）や『山猫は眠らない』シリーズ等で明らかだが、1962～63年の冬、朝鮮戦争（抗米援朝戦争）における中国人民志願兵たちの“米中対決”は如何に？大雪原を舞台とした狙撃手たちの大活躍で徹底的に国威発揚！そんな演出もありうるが、さて本作は？

日本未公開の最新中国映画でも今やパソコン上でのオンライン鑑賞は可能だが、中国語の字幕を見ながらセリフを理解できなければ全然面白くない。しかし、HSK（漢語水平考試）5級に合格した私の語学力を持ってすればそれもクリア。ウクライナ侵攻と同じような、朝鮮半島有事、台湾有事が勃発した場合、現在の中国人民解放軍の実力は？本作に見る60年前の朝鮮戦争における中国人民志願兵は火力も兵力も貧弱だったが、今のそれは数十倍、数百倍！？それはともかく、大雪原を舞台にした米中の狙撃対決にワクワクだが、それはあくまでパソコン上だけのお楽しみに！

2022（令和4）年6月10日記

弁護士兼映画評論家 坂和章平の出版物の紹介

<まちづくり本、法律書>



<実況中継シリーズ全4冊>



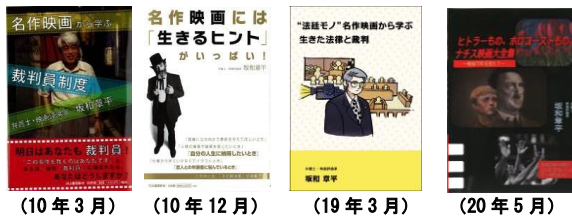
<その他の著書>



<コラム集>



<名作映画シリーズ>



<中国語の著書>



<『シネマルーム』シリーズ全50巻>

